

ご多分に漏れず声有ドライブウェイも人手不足で、求人を出してもさっぱり応募が来ない。待遇を上げて、だ。そもそも技術系の人間の絶対数が少ない。工業高校が減り、大学の土木専攻もいつの間にかデザイン専攻に変わっている。学費無償化は理系に限定するなど大胆な優遇策が必要とさえ思ってしまう。

そんな日本の現場を支えているのが外国人だ。外国人労働者は230万人でわが国の労働者の3%を占める。今、建築・土木・測量技術系の有効求人倍率は約6倍。彼らがいなければ建物を建てるのもままならない状況だ。今後日本人労働者は毎年50万人ずつ減っていくのだから代替者も存在しない。

実際に地域で働いていると、現場の人手不足で国が成り立たない一歩手前と実感する。極端な話、わが国は「インフラやサービスを維持できず生活水準が大きく下がるが、今の社会文化の空気感を守る」のか「社会文化はある程

地域を この目で

芦有ドライブウェイ副社長
齊藤成人

NIEワークシート 中～高校

左の記事を読んで、下の問いに答えましょう。

1 傍線部とは何ですか。本文中から16字で抜き出し、最初と最後の3文字を書きましょう。

 ~

2 外国人労働者について、統計数字から見て正しいと証明されていれば○、間違い、または証明されていない場合は×を入れましょう。

税や社会保険料を納めていない	
日本人の雇用を圧迫している	
日本人の賃下げの圧力になっている	
治安、風紀を乱す外国人労働者が増加	
生活保護受給割合は日本人より多い	

3 実際の統計数字にかかわらず、外国人排斥を訴える主張がなくならないのはなぜですか。解答欄に合うように、本文中から14字で抜き出して入れましょう。

いから。

移住者の力知る兵庫、進む道は



外国人労働者

度変容するかもしれないが、外国人労働者を受け入れ今の生活水準を維持する」のかの岐路に立っている。

財政面からも彼らにどんどん働いてもらって、税や社会保険料を納めてもらう方がありがたいはずだが、差別感情に基づく過激な外国人排斥を訴える主張は一向になくならない。欧米と異なり自国民の雇用を圧迫しているわけでもなく、日本人全体の賃下げ圧力になっっているという研究結果も無いにもかかわらずだ。外国人労働者で成り立っている建設、小売りの大手業界団体が排外主義を批判する声明を出したと

いう話もついで聞かない。

法務省が行ったアンケート（2023年）では外国人労働者の増加を「好ましくない」と回答した人が23%もいて、半分近くが「地域の治安・風紀等に悪い影響がある」と答えている。だが起訴・不起訴にかかわらず検挙された外国人は20年前をピークに減り続けて今は全体の5%ほど。さらに言えば外国人が世帯主の生活保護受給割合は2%と日本人と変わらず、この数字だけ特別永住者を含んでいる。

こうした統計数字をいくら説明しても、なかなか冷静な目で現状を俯瞰してはもらえない。問題視される不法滞在もわずか2%と思うが、納得はしてもらえない。やはり実生活で外国との接触頻度が低ければ漠然とした恐怖心を払拭するのは難しいのだと感じる。

いまやパスポート保有率も18%（24年末）と、自分がマイノリティーになる経験を持たない人も増えてきた。

ただ、歴史に倣えば排外主義の牙は必ず自国民へ向かう。延長線上にはは税収面で貢献する東京や高額納税者を優先すべきで、生産性の低い地方へ金をまわすのはおかしい」という考えが待ち受けている。兵庫県は地方交付税をもらっている側だ。

わが県は阪神工業地帯を中心に多くの県外出身者が移り住んできた歴史がある。その2世・3世は県民の大勢を占めるようになり、出郷者会も盛んだ。自分と周囲のルーツを考えると県民ならではの答えが出せるのではないか。

県内唯一の特別都市建設法で定められた国際文化都市芦屋市。法では「外国人の居住にも適合する」街をつくるとしている（2025年、筆者撮影）

NIEワークシートのこたえ（2025年9月18日公開）

◆ワークシート「数字から見る外国人労働者(社会)」 2025.9.17付 夕刊 2面 解答

1 差別感 ～ 人排斥

2 × × × × ×

3 実生活で外国との接触頻度が低 いから。